

## 在鸣门 第136期

### 小さなボール、大きな輪

8月4日から8月7日まで、日中国交正常化45周年を記念し、北京で「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」が開催されました。本大会は日中友好交流の大切なイベントであり、1992年から始まり、5年ごとに開催され、今年で6回目となります。友好交流都市間で合同チームを組み、今年度は67の合同チームが参加しました。この4日間にわたり、北京の国家オリンピック体育中心体育館（The National Olympic Sports Center Gymnasium）で開幕式、試合、閉幕式が行われました。

### 乒乓小球转动交流大圈

8月4日至8月7日，为纪念中日邦交正常化45周年，中日友好交流城市初中生乒乓球友谊比赛大会在北京召开。此大会是中日友好交流的重要盛会，自1992年第一届以来，每5年举办1届，今年迎来了第6届大会召开。中日友好交流城市联合组队，今年共计67支联合队伍参赛。在4天的会期中，在北京国家奥林匹克体育中心体育馆举行了开幕式、全程各项赛事以及闭幕式。

鳴門市は、監督の勝浦友紀さん（鳴門中学校）、男子選手の梅本昇喜さん（第二中学校3年）、女子選手の中村さよさん（鳴門中学校2年）が鳴門市代表として、友好交流都市である中国湖南省の張家界市とチームを組み、初めて本大会に参加しました。残念ながら予選で敗退し、決勝トーナメントに進出することができませんでしたが、両市の選手は今回の大会参加により、卓球のスキルアップを図るための良い経験になったと思います。

鳴門市以教练胜浦友纪老师（鸣门中学），男子选手梅本升喜（第二中学初三学生），女子选手中村 Sayo（鸣门中学初二学生）为鸣門市代表，和友好城市・中国湖南省张家界市联合组队，首次参加了本次大赛。非常遗憾，我队没能晋级到决赛淘汰赛中，但是我想这次大会为两市选手提升乒乓球球技提供了宝贵的交流机会。



本大会は、卓球試合のほかに、全チームによる観光資源の視察も行われました。視察先は北京の万里の長城と、中国「一带一路」サミット会場所在地の「雁栖湖」でした。視察後、参加者は写真とビデオを見せ合いながら交流していました。中には、「また登りたい、万里の長城の全部のお城を見てまわりたい」と言っている選手もいました。

本次大会，不仅进行了乒乓球比赛，大会还组织全体人员视察参观了北京的万里长城，以及中国“一带一路”峰会会场所地“雁栖湖”景区。视察观光结束后，选手们互相分享照片和视频，互相交流感想。其中有选手说道：“下次还想再来爬长城，要登上所有的塔楼。”



今回の大会参加者は、言葉が通じなくても、片言の英語やジェスチャーなどにより、卓球を含めたさまざまな場面でコミュニケーションを取っていました。皆さんにとって、有意義な夏休みの思い出になったと思います。最初は全然知らない相手でしたが、本大会の参加を通して笑顔で話し合う仲間となり、小さな球が交流の輪を大きくする力を感じました。

本次大会，双方虽然语言不通，但是参赛人员通过简单的英语、手势等进行了包括乒乓球在内的方方面面的交流。对双方来说，都是非常有意义的暑假回忆。双方从起初互不了解的陌生人到后来成为愉快交流的小伙伴，这让人切身感受到了乒乓小球转动友好交流大圈的力量。



### 「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃそんそん」

「徳島なら阿波おどり」という言葉をよく聞きます。待ちに待った、阿波おどりの時期がやってきました。徳島県下を切って開催されたのが、鳴門市阿波おどりでした。

8月8日に鳴門市選抜阿波おどり大会が開催され、鳴門市文化会館に見に行きました。踊りの振り付けや舞台の演出は、今までに見た阿波おどりと違い、斬新なイメージを受けました。

### “跳舞的是傻瓜，看舞的也是傻瓜，同是傻瓜，不跳那就亏大了”

“说起德岛那就是阿波舞”，这句话常常萦绕耳边。终于，我们迎来了期盼已久的德岛阿波舞舞蹈节。而打头阵的就是鸣门市的阿波舞舞蹈节。

8月8日，我前往鸣门市文化会馆观看了鸣门市阿波舞选拔大会。果然，舞蹈的设计以及舞台效果等，都与之前看过的阿波舞大不相同，让人耳目一新。







その後、8月9日から11日まで、鳴門市阿波おどりが行われました。演舞場へ行く途中、阿波踊りの鳴り物の音が耳に入ってきて、わくわくしました。演舞場に着くと、凄く賑やかで、老若男女の間わず、皆が踊り、いつもとは違う街の様子で、まさに別世界という感じでした。

接下来的9日至11日，阿波舞各队在露天的舞场进行了轮番表演。我前往会场的途中，远处传来阿波舞乐器的奏鸣声。真是未见其舞，先闻其声，让人激动又期待。当我到了会场之后，眼前人山人海，热闹非凡，男女老少沉浸在欢乐的舞蹈气氛中，简直是别有一番天地！





踊り子の踊る様子を見ているうちに、一緒に踊りたくなりました。誰でも参加できる「にわか連」が繰り出され、私は「にわか連」に入って、皆さんと一緒に踊りました。鳴り物が始まった瞬間、自分も踊り子になった気分で皆と一緒に笑いながら前に進み、汗をかきながら、楽しく踊りました。本当に「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにやそんそん」の通りだと思いました。

いくら見て楽しくても、自ら踊ってみないとその楽しさが分かりません。皆さん、ぜひ、踊る阿呆になって一緒に踊りましょう。

在一旁观看舞者跳舞的时候，不禁想要跟着一起跳起来。于是，我加入到了大众也可以参与的“临时连”中。音乐响起，我瞬间感到自己就是舞者，和周围的人们一起快乐地跳起来。我们一起欢笑，一起挥洒汗水，开心快乐跳啊跳，真是应了那句话：跳舞的是傻瓜，看舞的也是傻瓜，同是傻瓜，不跳那就亏大了！

无论你在围观的时候多么开心，都不如加入到队伍中亲身一跳时候开心快乐。朋友们，请一定换作跳舞的傻瓜，加入到舞蹈大军中来，一起欢跳阿波舞！

部门：鸣門市観光振興課

地址：鳴門市撫養町南浜字東浜 170

(〒772-8501)

TEL：088-684-1746/FAX：088-684-1339

E-mai：[kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp](mailto:kokusai@city.naruto.i-tokushima.jp)

编辑：翟羽佳